

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	学生によるHUIIC International Conference 学会発表(参加)および、 ハワイ大学視察による海外留学への動機付け	
学部・研究科名	人文学部	
実施期間	2016年1月4日～1月12日	
研修先(国・都市・施設名)	アメリカ	
参加学生数	5名	知の森基金からの支援者：5名
プログラム概要	HUIIC International Conference on Arts, Humanities, Social Sciences & Education (ハワイ大学主催、開催場所はAla Moana Hotel)において学会発表あるいは学会参加を行い、国内外の研究者と意見交換を行う。 また、同時に、HUIIC International Conferenceを主催しているハワイ大学およびその周辺なども訪問し、海外留学を経験したことのない参加者に、海外留学に関心をもってもらい、将来の海外留学のきっかけづくりをする。	

実施状況・成果

学会は、参加者中4名がそれぞれ単独発表を行い、残りの1名も含めて5名が学会に参加した。前日の夜まで発表に向けた指導が続いたが、そのおかげで当日は、聴衆の前で堂々と英語で発表を行うことができた。しっかりと準備し、きちんとした発表ができたことが成功体験になったと言える。実際に、2月に学内で行われる次の発表会に向けて、自信のある顔で準備を進めているのが見えるし、再度、2016年度にも(2016年8月予定)海外学会発表を行いたいと参加者たち自らが言い出し、現在、その準備に取り掛かっている。

海外留学への動機づけについては、参加者5名中、半年以上の留学を経験した学生が2名しかいなかったもので、3名に海外留学を勧めることが目的であった。そのうち2名は、2016年度中に留学することを決め、残り一人も、2017年度には留学できるように、準備を進めることになった。5人の中には海外に行くのが初めてという学生もいたが、海外に行くことは特別なことではなく、ましてや恐れるべきことでもなく、新しい世界を体験できる、(思っていたよりも)気楽にいくことのできる場所であると認識を変えることにつながったといえよう。

この支援をいただいたことで、腰の重かった院生が海外に行くだけでなく、学会で発表まですることが可能になり、結果として、海外にむけて発信する自信と行動力が身についたことは間違いないと言えるだろう。

学生の声①ー人文科学研究科 学生

私は知の森基金の援助によりアメリカの言語学会にて研究発表を行ってきました。私は現在院生一年生で、学会発表というものを体験したことはありませんでした。ましてや海外、となると発表前は不安でひどく緊張していました。結果的には発表も無事に終わり、終わってみれば発表前の「緊張や不安」は、「自信と経験」に変わっていました。非常に貴重な体験ができたと思います。

また、私は昨年アメリカに留学していたのですが、今回の学会発表を通して留学ということの意義を改めて実感しました。留学をすること、つまり生活のレベルから英語に浸ること、英語の文化圏での生活というのは確実に私の中の英語への意識を変えてくれます。

これは英語学専攻である私に限った話では無く、自分と異なる生活・文化に身を置することはその人の見識や価値観を大きく変えるものだと思って体感しました。

以上のような経験は知の森基金の支援無しではありえないことでした。こうした機会をくださった知の森基金には大変感謝しています。

学生の声②ー人文学部 学生

海外で学会発表をするにあたって、学会登録費や渡航費などのお金がかかってしまうので、学会に参加するか悩んでいました。そんな時にこの知の森基金の話聞き、補助のお金が出るのであれば思い切って発表をしてみようという気になりました。今までは海外の学会で発表したことはなく、英語で発表するのはゼミの中でだけでした。今回の学会で、公の場で自分の研究を英語で発表できたことは大きな自信となりました。

また、1週間という間ではあったものの、海外での生活を経験したことで、もっと長い期間留学をしてみたいという気持ちが強まりました。海外留学の次へのステップにつながるいい経験でした。

学会発表の様子

